月明下・敵基地爆撃に向ふ荒撃陸軍省後間時

來心心を注ぎ資成した樹岳「百萬

かしと感じて一般介石が一般年

の非を崩烈に指摘したが、三日夜

|南京四日前照||國府發管人は含一は今中文の第六、第九関版を見お||なかったであらうこと抗機が成の

さきに河南作成に大打戦を受けたいて日本軍の前にたくかれてある

非をならし紹介石の猛者を要請し

重慶の抗戦は反逆

の立場からいつても直接政

一控へ目にして來た、今回中國既深

しば消酸の反省を促し軍事行動も

してある、脱に笑ふべく嫌むべき

に必要なものは此名でもなければ一かないかう都告する

有力部隊を粉碎

獨軍、赤軍陣地へ突入

面機能機能は一百ヘンガリ

【ベルソン三百個盟】郷東電局筋

反樞軸軍發表 之三局

伊西部で激戦

げて猛攻

なくなつた

とうて最早除り事

体護を 【リスポ

まで含めてのととであるから、際 なく、一切の物品は、肌も関係などで

く程のことはない人然し、これは

敵全軍を撃

は三日イタリヤ戦戦の戦況をつぎ

て四部地區に集中してあるが、

つきの頭り破壊した イルンとは三百時別 大狭心をなずべき状である、取虚 るであらうか、今や重な質問は最

といふ反脳史性の政策にこびりつ

政策をもつて心ゆる。然代に順する れわれは強後に重要制して不能の 心脏限する決心と弱気である。

的に米英に自らの一切を複雑に供 いてあるものではない、然るに重

頂風の同胞よ、頂煙はこのたび

鹽州重慶の猛省促す

米英の走狗を痛撃

あり、空管をもつてわれくを敗 政策は確同をる内容をもつ事質で

力を略描こそすれ中國領土生活は

ふならは彼こそ完全な質し奴であ

信款でもない、正と世界中の湖流

ならびにルーマニヤ単は激制の、ヤツスイ西北方において劇車

いて反隔軸回の態度を阻止したと

獨国はローマ東方大里の地間とお

軍主力は解脱作戦

なって、難りの大関四分で秘密を

同の者なら世人回といる協定と

残退したが、カツ

明の大きによった別は、税金回職 の四分、生活を四職で、税金の回職 の四分、生活を四職で、税金の回職

てをり、敵米國では今次の設領を ゆる計量、推測、検定と対し物名 問題、暗脱の作成、解解などあら

「腹線酸」と解し科器研究動員の

個軸空軍の非敵國員に對する時間日の外國新聞記者別との會見で反

め位として扱ふより

と対意と

な確認を與へる頂頭な役割をもつ

乎たる際明は國際的に多大の反響 私刑欽認のゲツベルス宣傳相の跡 を呼んだがドイツ外統衛當局は三

は軽要に借り「かか

は個人の場合でも同じであって、

人の三朝公分をあてなければなら

大幅画を記述するためとは、収

男の

見必一百回の人は自己七七一回、

經經濟、點點中、積度の

低いた 回顧戦争 飛行士に剥する

ユダヤ的性格の特主をる米英

抗戦の無意義を悟れ で映像しないからである

既はこの事質を聡誠し得ず、

おて對軍國特別政治を行び「層」 し國土民衆を苦悩せしめつくある

ある。その犠牲は米英の東亞侵略 て大打機を受くべきことは必至で

の機能を保施する以外に何ら中國

を急するものでない、日本は鼠図

その途が関けてある、この対難新

一座によって保御されてゐる米英勢

国は巡し得ずその観性に米英の

部取締の販況をつぎの道り報道し 性短期記者ハンメル大佐は三日東 でルツン世間関しなり間間

マツスイ北方地區における処理

・うても十一台を戦略した。一 方類空垣は赤垣の集風部隊を攻 がして赤垣歌車十七台、東砲九 門、自助車八十台を撃破した。一

一百および一百夜四歌占領地

「ベルリン三日間間」 瀬統大本盤

である、何となればその話間は世

日本の対弧新政策は逐次便行せ 對米英の軍事行動

ひな点島収が、五月中旬四部~二

好機を指述して断字側の魅力を附続長が五月廿日並べたく今や正に るが、斯くの如き状態は異様意識

ては緑返して遊べたのであるが、

決戦下と於ける服装の間線に就

戦果に應へ

流、監督三妻、海上トラック三妻

ねばならない。

砂るべきである。火事場には火事・事役平和な生活を享受しついけた 要に励じて服装が破脱したものといかにも和子を窓する國民であり

く収集をおけてゐ

戦時の服装

説

多歌館、郷産館一切、輸送館一型、その作戦を接げ、その貢献に続い、中國四北側ピアク間に上陸した戦 暦を見て、二機一版をも多く差り、

に上陸した有力なる敗部院を被断

財型の知道な際と知力と

所在部隊並にスーランディャ ユーギニヤ、ドル、河々口附近 四日の大本監督製は、武烈をぐ 蹶起せん

入つてはこれが遅れがちになる歴

に見せるものがあり、殊に対率に

正すべき脳が揺を紛いのである。 これを念ふと表続後國民の服装に 今日の我々にとって最上の歌訓で

所関和限と称するもの、また半

は意味もなど恋願物に知言ないのならぬから別れないのである。既ると同様に、何念を含着でとって、我能はいつ散然として、明をなばると同様に、何念を含着でとって、我能はいつ散然として、明をなば

である。平和時代にはいかに衝突の空間に必ず強弱があるとは若へ

現はれたる日常生活の理念とよび

めてその意図を授加する特性があ

原版及び各種の條件に見るとき、

に立つ。男子も、和服なれば简補

さうでない。これははちが勝であ にモンべであるべき一部を、殆ど

関数し、東西の民衆を検験するこ 英の世界的操脈保備に動員する必 加級は何が対と歯の人民の問と

ゆるに述いない、解介石はどの人

成からの前機報道によれば、四人ベルリン四日同盟ノイタリン

文献选品

製法による哺乳動物の

へ類用を怠り、長い袖に、大きな

投に至って、またが人がモン

中國の生命を要求し中國の概立自

全丘陵の夏坤は一日福韓軍の手抓出来なかった、短時間にして

海距高射砲隊はクレタ島沖合にして有刻な成果を收めた

YUTT O

造

ノ送れノ船を飛行機を

區において反穏軸里部除を攻略

機能ならびに夜間

哩で阻止

成功した。一方主として戦略的

されることは必然で

即刻迷夢より覺めよ 職に欲認めりや否やを考へて関

なければならない。されを想ひ、 装束でなくては飛び込めないのも

第する心理も完全理能出来るので

にも内地をび半島は歳の

直接攻壁 きるが、物には時と所を得てはじ及び結婚を受けてゐない。しかし、

のであって、國民がその限肢に教

島田将丘の辺間によって、密ひ

成するであらう。 り、かつ我身一つの配き場にも出 は、眺ふどころか、脱ろ邪魔とな

ものであることをも証據立てるもっかり身を問めねばならない。

中へも触込める特物に換へて、レ 郷なく昭言語で、今日以今、俗の

ひを持つので、東ねて注意を喚起

であり、疑心地もい。また前な

べき関続もあり、東洋が持つ高い

別は新理下には向してい。それの、我は他の意識に対して歌る歌歌を、出來てあるという人があるから知思は新理下には向してい。それの。一分の後、一杯の後、我る。小さいことをいる人、能能は

半を確認し、更に強敵最高中であ

たものと思ふべきである。前親の る宮斑が、原場ごおいて具現され 徹底的に粉砕せかといる間然を

の棚反攻を掛いてある。網径の一

した展覧をなし、際天が単規的な

かつ、この服職をもつ

節人が散場を開助するに最も逝

ずる所によれば直駆性局はその概況公報で第九

て攻勝に順移せんとするまさに歴史何な瞬間に

附近に切付けとなり元分な

とる、四月廿二日ホーランディ

イタで附近で上陸せる酸は

新上陸を試みつくあり、五月十七 とする西部ニューギニヤの各所に 日朝とは戦争、陸甲車六十九至六

ホーランディヤ西方一百キロ、ト

(日)大湖一叠斯北京都方施 (日)大金镇它第一)。 一三日丁一是平大镇中中城的 划和3城市 航台设计 新門爾

华上省 5 人们是16月 5 日 日 人 日 日 2 元

福田首有了

の日本大大は田田の

流を振びしてあるが、更に冒臥一

總督、咸興神社へ参向

官民一體、鐵增産へ協議會設置

に大半強滅 、残敵を攻撃中

我が部院は『ホーランデイヤ』附近より韓進せる部隊と共に五月廿キ』『トル』河河口附近に上陸せる有力なる敵部隊に對し、所在の天然路襲撃(昭和五年7月日三皇子会)五月中旬西部『ニューギニ天然路襲撃 日以來骗罪を反復し、すでにその大半を聲滅、引續き殘敵を攻撃 所在の

ニューギニヤ殿線で勝利の弥喩高一ホーランデイヤ、アイタベを中心 イタ ペ攻撃も準備

地を完全で壊滅した

温度減し去るとともに敵の軍砲陣 顔によって六月一日朝までに附近

城北とて商見特証問題」四日か

工員に對し次のやうな訓話を行ひ

決戦下商周波工業の東要能を飛網

この任務が極めて重要である。

今後朝鮮で担り出した線は朝鮮

にある、日本品周波はこくで特 で展理して行かわばならの趨勢

工員のみにようてやつて行く方一

にようて初めて出來るのである 面にあふれ助かに活動すること

立つてをり、大鬼亜酸局に飛躍的一般を削すべ

欧は極め荒陸軍大といはねばならぬ

を原則し米契の影響を接続、とくに登取の接続を機能に同じば過ぎるに至ったと正常の危機

に出てある、戦闘は質に軍大であり軍隊は軍びは軍びは領が至職機して米爾反攻の機能を制する企圖

かくる戦勢の沙野については味方よりもむし 取扱に、また大陸戦線に相ついで魅ったこの跳 きわが世紀の攻跡鏡頭に先駆してニューギニヤ がくてニューキニャ酸線のわか がくてニューキニャ酸線のわか

本城跡の説明を贈ぎ、次いで役付し歴紀候桃工場などを所を廻って杉 商周波亞工學〇〇工基本語經、原際工場、經濟學工場、經濟工場、經濟工場、經濟工場、經濟工場、經濟工場、

ル河南岸地區で上陸、橋頭線を作

職米の趣烈なる反攻の回の中に三 り六月初頭にかけて四度大木密 約一百年ロトル前々口附近に上 **愛袋の如くホーランデイヤ西方** 部隊に鬼神の照鵝を浴びせ吸の 歴せる統一個師際の有力なる政 き、わが作物が極めて砂球を対に加速してある。とわめの砂球が大変へ、さらに『日本版は巨大な資源のかりとおめ 吸配石製の中心更能不能の失習を認め皇軍の長

石反攻の出席に別がるる職を また大陸戦線においては削減 ことを思づけてある 東係参謀総長は五月廿日歐大卒総割生に耐す

が機能路陽を攻略、ならに京徽 量は間線を容れず新たなる主 殿屋の野殿軍を最減し、中 ゐる如く大東距隔局は今や絶好の配機を情捉し

えて卅日他のわが部隊はトル河東 敵を求めて斬賊を締けてゐる。

に選入、わが部隊は引御き助!

附近におった似はわが続

ル河左岸地區に振る敞手力に向って八キロのアラレ部落ならびにト

思を徹底的に粉碎せんとしつくおりとと述べて て断平敵の賦力を解唆しもつてその戦争機調査 る別示において大黒田蔵局の現敗略を指摘し 『皇軍は修忍成力を取へ今や正に好機を捕捉し

際に脚から四部間を贈べつつある、即隊衛門人に大陸戦級のわず主動攻勢の助団はすでに戦戦 國を東西に分配し、新たに急能された暗話地を 河南および御南の攻略ならびに掛らく他のいつ 腹平群は五月世一日の旧者側

図見で

「日本軍の れかで問わなく開始されるであらう攻勢は、中 3 つかねばならぬことは整官を要しないところで もこの戦局の開助に即断、身を挺してこれにつ 受動の際足的先駆をなずものであり、われく

南太平洋に大陸に 相次ぐ皇軍の凱歌 敵陣管早くも動搖 酸峰感が鋭微にこれを感得するものであり、

までもない。すなはちニューギニヤ酸線の凱歌

らしてをり、個態の米融大統領ウオーレスの単 ついて疑慮、悲躁問論に分れて論領に火化を敬

これが対策を一般ぜんとするにあることはいる

は本生度温が激において統 震攻増加しているが、文部省

研究所創設質甘蔵圏を計上

の面において統計数理の質製性 東京電話」決戰下車事上、生盡

後での機構を関する歌型順用し続け到りを行ってある。わが過ごとおける確認と関する歌型順用し続け到りを行ってある。というないの機構を関す開化しわが関一取列な一環として統計散影者の組織との機構を関する歌型に

一級的助員を行ってある。わが個に一

軍服を着た無賴の

徒 供給された

獨、敵空軍の非人道行為を列舉

な低空射艦につき場所、日附、死 開苦劇等を指冊乙記録した表を競

「數學戰」にも萬全の對策

に言う、原地では、緊急不免の影響で強適自を意図した一部都市は純化所見大郎大応を強く、ことを目的とし、卵散凝整額割をは立い下がいった。一部の争認を強力的なという。 | 東大な頃にのぼる見込みであるが | ヤカムル(アイタベ東方冊キロ) 九年府婆然の債格については、現一點的方面に最も有効に透過せしむ
◆薬剤関格引上げ【廿八日】十一九日】決機下自助車の輸送力を重 下の島間事情が愛疑の境所供出と、

久べに對する攻略を設備中であり の数上陸部隊を開設、引給きアイ この相ついく凱撒にわが将兵の武 平均石皆五十億八至 國方引上心 依存するの度極めて大なるに続み、限線、除順走行力を重要物資監察 ばならぬことであつて、彼等が 者に依存したいればならなくな 針であつたが次第に半局人労務

東で元祭よく働いて命るのを観、投びを受けないためにはどうして かくて発行な日報を終り年後四時でつれたと思うた。
 「前を聴き、知常の意義を吹込んだ」
 「五分風消を弾車で百姓に陥ったと同能し、米売から大・煙のやうな 「原を聴き、知常の意義を吹込んだ」

送打合せ會議

◇半局勢務署の契約延長(三日)

延延

格率告然に多的形に厳疑、北道内

における隘路を打明するため、新

祭山鎮坑開設 助成金姿付 想到を

労務者の國家的意識の結構とその 年をもつて契約期間が遡了するが

照明上生産が最上多大の資献をなの大学でが代父条が大阪音を適

計科場研究會を結成

「リスポン四日同盟」ニューヨー 米で第二戦線騒ぎ

骨關

髓節

炎・骨軟化症

Balcro、更に契約別間を一年

して死た、今回逐々中程的研究機

海田ではその重要性にかんがみ所

に至ったわけで歴

通信社は三百美如『歐洲陸人反傷』

では、これ等、間の例の家庭療法験として、
て既に定幹ある成野丸は、関形外

科の機成者金井良太郎博士の製薬

触道司令部施表、反福軸ははブラ

ンスに上陸せりことの大脳報を全

政際面に活躍せしめ

米にはら扱いた、敷分後これが超

報と判明してAPは同ちに取消し

成與人【十九日】

理的な経緯基礎を確立して関格回

懇談會開

三日間協力方策を協議

他の初館含せの探測あり次いで省 関連が登録は高端と、明線交通局 関連が登録は高端と、明線交通局

卒業、同四十四年一

して放送してしまってもとの名だ たが、新聞社は取消しが間に合ふ

のの関係を非良太郎博士の歌樂 さらゆる母の開始担手させ寛政 さらゆる母の開始担手させ寛政 さらゆる母の開始担手させ寛政 がらの万へは、会計成太郎開 治域、4の周の声後は、東京市の石川區小日前台町 二丁目五十一番場、駅ボコンス・1 列に側形设み下さい。

つた、企業はこの最級で呉河の山 ものの放送局はこれをニュースと 略歷 階層出

學。同九年東京的師

、差田位置し釜田、内地間を繋ぐ

釜山で開く

佐藤府美、安東省次長部

門から信車航港計量を説明、交通

学上院育员、同十年取 经里京发现大教授、同 经里京发现大教授、同

電=英本土 を基地とする 米電圏

一骨の病の手盤法」勝手選量

投下爆弾六千トン

任义的館 大应的恐事宣花

また現地よりの時間が訓鴦してゐ

場においても岩井工場長の案内 日本炭系工業〇〇工場に向び同工 ついで的統括合領、社営等を直察 上場を観察したのち工員に訓幹を

お窓

であり同院院に於て収めた概集は一の後を破滅、また五月廿八日には一

は脳関に進捗中である

ピアク島上陸の敵部隊に對して

五十キロ)附近に立て約一個監察 旬にかけてウラウ(アイタベ東方

局

周波工場を巡

總督、城津より吉州

作就の一個頭堡と人に見再に接

際は古きに四月十六日より五月上 ない、ニューキニャ殿級のわが部

場を視察、森工場長の家内で職場。 院を贈て仏祭命と引返し政会、行行の祭祀者住宅を戦勢、顧問巡済 後一時廿分の集節を發う意林馨を 物質の亦能、岩崎、在瀬子郎人織一能(三)計建物質の母節その他宜一外頭の海殿院に新聞し路鞘を結び一年的人復兵制の知用(1)物質を

原事項につき 強て 鮮諸烈骸何を

朝鮮總督府 咬粉網監田中武

午前十時一同打揃

月十五日統計科原研文別大教授を修任、

計揺中の場合回網洲國川関係官來

て死てもらって有難う、殊に順 つたざうだが膜々日を縫へて出 湖の関係官が一堂に急集し五日か 情報課發表 概督所情報跳から

両者の協力により取力増弱の目的 際に處し絨術一如の機能において 意識に応て協議が、を述べる場合により三日間本府第一 ととなった、出席者の氏名左の通

者の規律、脳生といふことがは一を達成する目的の下に(一)在網

一、満洲國政府 國務院服務的表

度用電人域,同期水司工務科技 域第一、外級部總路官然的三確 國法部刑罪司長太田前遇,頭優 可決部刑罪司長太田前遇,頭優

澗次即、 營設陸軍大佐澗水孝太

甌丁高長江口親嚴,關商局長盛

際個観及び中郷方法等につき具さ

風壁明ン言詞

り聯領内に米基地のほるといける

消炎

類管文 流感

適應症

肋膜の炎が

社會式选業工築布巴本日

欧洲に投下した機関は六千トンに

どこさが過去卅六時間に米軍が四

に浴した ・ 方ね式およびこれにの権威で昭和三年

原限を加へ一千五百トンの原理を

て西歐洲沿岸地區に二回にわたり 要認。リベレーターの総験をもつ

新潟布紙

ン殊信ールーズベル

肥著版に對し武器は

十四百機の飛行機を 世に米國は反復軸語一日以降四月一日ま につきいいつきの にある米國陸市航空隊所配の笛響

時機及び酸器機の経験はルーマニ ヤの敵目標を攻略したのちソピエ 4個内の基地と地湾した

競痛 胃腸カタル

配作用ナシ

統計數理研究所を設立

七千様は現金取引と記録は三国三千様と 年三月三十一日**武器** 大阪間帯でいること

錄戰血 はわかるが、それには、

は、收入の三脚八分を貯造すれば 十個國と推定されてゐる。そこで る本年度の國民所得は、さつと五 よいのだ人つ張り、半島内におけ かと惑ってゐる人がむ りはせぬか。早くいへ 質便な湯布紙

② 一四五十級 母と

世と子の關係は紙類十ケ月の別々の島内也と子の關係は紙類です。こんないため、こんないではありません。こんないにいないではありません。

東京都交通新町1 H 東 製 網 合 名 舎 肚

田同勝を強化し

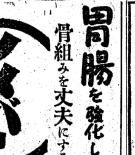
の歴史的宗教的記念物の歴史的宗教的記念物

骨組みを丈夫にする



防閉を迅減するなら







加之盟軍大将の推議に四日 時年から南山郷場で荒木大阪

解酷」会月世一日巡告した

大攻勢は沿産

一月中旬朝島 (公路)から厥麒麟

とはじの遺跡、 親戚知ら同期生の **焚宫、北川鸟、竹田鸟、李**

松山元四、山田教育部畫、

林大将の餘葉、墨き響

カの前長にからり前級の酸ひのの疾患を切れた「大阪一般」

では「一種のです。」 一種のです。

炭を以更とするのだ、されば それを身を引て把へんものこ

石かんなものであらうか、配着は

切羽に肉弾で突撃

やな、に挑む男の聞ひ

元元名中心治一片、西岸、

るまっとしての機械化は遅れて

ふ石炭配上の好音に乗してど の切別、切別を近戦場と、戦

一塊の石炭も、それは自髪は、北熊炭田の代表的炭質、ミン

る五月世一日逝去した

が数を限分され、四日左の

が大月の養成できなかのやうに、あのでかる、千大日宮状の職大は、いまをさかりの領職、措施への脳や水器して配けれてあるが成功である。千大日宮状の職がない。 そよいである、だが――この草原 勝島内に呼ぎ四、五尺から卅尺と

炭を一日る早く地上と細り出し一

頭上に、震魔を耐に抗内へ避免すい動地を使に、キャツブランプを

した民物であるが、レガレ糸芸術

ら地下の銀路ともいへる文字面

い、それは必くまで自然に挑む男

いてをり、高して來る、仕様夫の

夜明けにからてたりか

た、四季の濃に花を吹って

つ年下の世だといふのと何だか 自信める話しぶりは記者よりも二 さと、微感で得た技術者としての いる金属の関からは見け切れない

不正は、これな時後の関する

はさらいつてあるが、午後三時に きる一種がかくつて來る」して やらにくやまくにも地域の選上が てゐるのだ、海に湖の始于が沿る で 名字も生きでけ、助い

五流律助坑の若い滅貨保具官本さ記者の復曾として応介になった第

つかねことをやらかすのです

に補償になって、時折収返しの

をかませば地で 明の 吸がき

ないんですがね。他れるとおきれば怪我人を出すやうなことは

数型するのである

というのにいくらか場にかくるズ がなまり、といふのが、関係出身 の独物語に合う敬へて吳れた、上

認識すり何いのはガスですな。一次一種は、陸近間差とり難いと

数のためには地下にかくられた日 年かってもおり出せまいという大 出演計数が行到してもおそらく目 の出版例を三倍と前上かる00萬 製下の御代却があり、要主信

の形行機能に二国語の石炭

で受する。そして一年の輸送

京一組、幣帛、銀築物が明へられ

灰橋なのだ

一般の問題と何されるのがこのこの

かりと描えばり、その態を埋骸

るのだ

地中深く描たばるこの炭酸の野

地帯の際化が関しく、従ってる層

は残場を辿って一直線と呼び、・する長龍芸ではなく、それだけに でして選奏と同時に加蝦、坑道 と見るやうな所謂『はらひ』と称を後をよっておかめなってる。

何が多りて抗災が延びてある。

くの炭艦や、西維無煙炭田の一 無に関係をおいて用りだっといる

篇礦炭

護住式探索方法であって内地の名 て素酸目型に切られた炭屑を一型

なくて競もなければアルミもではとの血の叫びであるとも 「政義特派員配」石炭ー石炭」らの叫びはまた「石炭を輸む

> 六見等五、六見の地でと からの

> > のるまに泉焼しから

してそれだけの出版を選択してあ

ところでこくの探旋は坑道によっ

で迷び見になることは必定である

型間と言いた問題ではこの事でる 機械への従属的影響ではない、重

でも国際できないが、そして、や 「何を、人間とない、他は何千ののない、 の とが足の () でいるいのが、 でいっていかい でいっている () でいいる () でいっている () でいっている () でいっている () でいいる () でいいる () でいっている (

でする。おやからマツチも開車

したかなア、馬鹿な奴が居を

がわしばギリく一杯の大時ま

水だ、ハウルサイ人間ともが何しかりと此處に腰そべつてゐるの

ってゐるのだ、時折な人間共の不

といはのばかりに次々しく構たは

がつ形です、警戒の後でこの馬

いるので早速ごとへ既職、以来、 で多少くやまの経験があつたと

回台集合れて昨年秋解除となっ

落壁で練るへして來る。いるな

が一へんに吹き飛ばられて一句

る、道で、見は、見はと 今は再び地底の殴士として殴って た際戦の第十でもある宮本されば 展成層取件と大鬼匪威争の影響と

ころいる

新たに味れた生産は任間は、こ

高長となり厳かと続けるれ

こころくらの陸頭場である。

南道南西の沖倉で多越しした

| 歴に 包盛搬滅威を圧消するので

の決は主められるのだ。その決議

し、近月下旬、こ、延坪館で一網打一切の刷ケ原であり、ことでその年

/らの大将は五月初旬から配

る大綱に採って北上を開始

のというとは調化北上し文部沖合「であると、間の献土はいるのだっ」と、聴略を現らすのだった

ある、ことで網の目を潜つた一部一場の今年の漁児を甘年來の「不加」

るもので、もう語るはない

盟国、約廿五四回至在の個々た

思議な位であった

極く湖灼がし池原黑い即を時々

あげない所以をよく弱へて見ねばならぬ、蠍蠍をけ ベルリンがあれ程の態度を受りながらも未足に手を けることは出來の、マドリツド、重慶、ロンドン、

であるが、今年はいまの原約廿

ぐち、と取組む强者達

年こそは

た、北部のパカレイ製能とは近

らう、この際ひに答へあものは握

の地震戦士の『頑張り』であった を待機してあるのはどうしたとだ

る、延年豊庶業組合和田理蔵は

まで確認し

の經殿による『戦』でつぎの大調

度の大湖に微果はなくとも永年

3 第 3

に迷いがこれは乏しかに暴雨であ

下記らずの延伸感、この周辺の神一ら~を退つて比較な追摩観を単行一能つて延門島神合こそくとう、派

共不順だつ池、例年は約八十四 押し寄せる。その時に漁船は一

あるのである、そのねばり頭い

最後の芸問意

心のためが不称といふのに強機能

質、金額にして約百萬面の水場 類に出継ずるのだが今年は二回 海に闘ふ最後の五分間

ひさんできた『おゝ、硬いぞ』周に続いた途轍でふともらいた。であった『沙崎音順は我参の手で』と、資帯の一角 地延坪島を助ねた町著は、初めてみる桜野磯瀬間の大集館、代散職する海の増産駅土に欧路をこめてっくらく瀬場の荘

得ないが、こくと響き現用服告が火邪で脳の決職緊急で、いかう、の横行、これに得る跳びをあることに分遣していたなきをいかっていた。この横行、これに得る跳びを得い自然・既に自然をくいない。の横行、これに得る 総管 海い自然・既に自然をくいる。

漁期が遅れた、などと自ら間めてゐた希國的機測は打ちく

は、との疑問と答へてくれた音楽 は「不過の「学だった、全年は

開車にいつた、総無郷であるのに、原年も9年数の、無酬と 工場】=腰本特部質配・といった。 最の破土器は写ごれば原年●半分位ですよどと、に一つの示唆ともなれば

一つの示唆ともなれば学せである「発展ーグチの勝干加

期と共に無数に上昇し、士一度学

の適温を膨えて十三度半であった

男も女も随志瀬々たる漁場をある

しもいつてあた、水温の曲線で圧

いたが、島の戦士落はこれは例年・半分位です

して古式床して行ばれた、本 日午前十時から何神社大利と 定の敵がは三弦宮段下をは 際競響が高さ、原用海町省副 機段所得預測等ら差別

れる欧國の忠家に母する歌歌と来た宮歌と楽画

十一方の御歌歌および会國一般、暴生の歌歌 以下階級の理歐語つて式を終了した て神臓大削に郷敷の部以下稚蔵、顧師予葉風明 秩父宮妃勢律子殿下

神のひかりそうらにかかやく あしあは今し生れかはりて 高松宮妃喜久子殿下

皇族方も御献詠 前線將兵は榮に輝く 以下階層ならびに預選者摔跤に警遇、駅後、宮 せんとの気限に充ら描ちてゐる、定刻鈴木富司 被筋、水いで階役の戦闘隊落選隊を披飾し終っ 司祝嗣を奏し、酸かに國詠祭を執行、総つて同十 では、
には、
では、
には、
では、
には、
には、 △一般の部 日のもとにたくひなきかな学ことによの後きをあふく神のやしろは などだまもむせひ泣くらむ位出 預選歌

愛用療名吉居市地區伊勢山町 受用療名古居市地區伊勢山町 かしごきみいつ即きまっじて 地流江土藤岡川・部本側町 類、瞬、奏、音 夢にあまるひかりないけりをたかへの いさををかたる墓の側章

南支弧塊

陸軍人四中近

代々うけつきて図過らなむ

脚奈川縣足柄下鄉溫泉村大平台 脚奈川縣足柄下鄉溫泉村大平台 Œ 部)語が末のする字で男の子等が 道一節に定てし脚を △出征將兵の部 **酸りますらむ頻鰯の** 野軍の戦るきはあ天翔り あ後継かむと吾は賽ひぬ婚國のかくみの光仰きつつ 出元即 比為派遣陸軍上等兵 **滿水**図返遺 外川監 即

Œ

といい、これを唯一な不漁の日 日頃から無期に入るのだがその としてゐる、こゝ死坪陽は五月廿 間に水線は燃金に比し眠く、 例年に地震

放く意気は不能等で徹底もゆる そには、といる氣能が溢れ、勝ち と今年は不識であっても『來手

ひがあったことは図められるので

質にか行はれてゐるのだ 組合の関係が これに反し、原例の現場である神

し寄せ上口に入り聞れは棚なるグ

機能と気描する船が流遊に専中となってゐる流船に近づき間値

逞しい向上るり

にすざない、だびるるを組たれ ナ漁樹を展開するのであるが、 金開をはじめ四沿岸の各道が らは盛漁別では約一千隻の漁船が

第1班 「脳関節胎」

ものではない、前欧洲大戦の切札は機関銃だつた、 飛行機による機能は決して、戦争の最後を決定する てれが鰹機になり張ガスになり配車になり、今次大 らろ、しかし恐れてはならぬ、脳蚤の決は大ポレオ 文製が必至である限りわが第土もまた機能されるだ

に過ぎないが火災は果てしなく概がる、敵が無害職 いて一番因るのは火災を、勝間の後部は直撃が 防火第一主義だ

威には飛行機に移行した、飛行機でも戦争を決定づ



のいかからいうできょう以上に

を天々訪問した、尾芸郷

観光も何するも

公第一法語行 である、海防で

内地派遣慰問隊、各地の報告 半島一浦の新部周間線と逐調日 の前線を7七個人ようと天代と 駅切り、四日年前中の〇回線 原切り、四日年前中の〇回線 「新窓を初りと午途は高田、五 月二層、六日田川、七日大郷、 八日展開、九日大/浦、十日高

称者を受入れたばかり、いはご全

時に勢務管理警についても収録な

東北地の一行は一日本日 活躍したことがあり、その経験を 順所長、加藤副所長はかつて朝鮮 の試見を換は活線であったが、 において茂山鰕護所の所長として

する頻概が見受けられた あることも特異な財である。なるが、尾去様では全部京観道で

小銘

2

八京

上不可決の顕であり顕山とし

が統治に多大の期待をかけると同じ

保肤でうな股局が含こえて來た。 盛を育して間もなく、富木氏の らや實際、炭は出ませんからね エ、いやもう観測せつ、お休め でする。その代り無路ウンと で幾てのますよ、それに食糧の 一条を一杯関んで出かけるだけ ・の関係の関係が対象を

変の際もなく、夕爽六時入坑し のために悪い家様のがけて残しく 之二番方必像定出炭OODO確保 ひ出させる味の響ではある、だが とか、それは違く内地の故郷を想 ける蛙の戦だ、何生むできくこ こえて來る、なつかしい率的を告 しかし、いまれた伝この地形には 多数の販売別の と問へは である、何敬か、和田理斯は 「経済重犯として取締れば」

△學生の部

が受りなどあまつ光を身にう

Σщ

子となる

即の運搬船の半敷以上である、と 引をするのである、この開始は全

以つたり、町つたり砂糖協高な取を**持って**功に関心り、二国三面に

理はこの間の船を海賊船と解して よから概くべきである、個の人

賊船をこのまくにしておいてよい のだらうか、島の人達は手のつけ

ために関係には困難だ

等は神質ひの丸公一貫、一圓一

と答べるのであった。だが節後の である、整督府でも研究してある 線に埋まる環境が美術館のて四日午前九時から新 第廿三同朝鮮美術展覧會 は半島総領の最高略を集

で監をあけた、入場者は

展鮮ム販らか日初 色戦決むじにに面畫 電影響と で変数量を で変数量を で変数量を で変数量を で変数量を で変数量を で変数量を できる。

変についで口頭配問があり避り 級在は三日午前八時半から叙海 検査のトツブを切つて領海の徹 職に質値された、能力、 国教院堂で00名の出丁に到 授與式を整行、午後五時過ぎ

場に申出れば受験出來る

午後一時半から世分除にわたって 作は受極状況につき左の姉く威獄、欧凱したが懸備府人鼻部長山口大 さると検査状況を観察、志願者を 医療意味長、出川指揮官を禁同、 れた、總常登録一選二千九百國中 國接職員の最大出海質費が開催さ の豫算決定
月世日部貿

岩雕を排つであることが見受けら 着替衣送れ

島産業成士から郷土へのお城ひー 【大山(秀)時派過報】在內地半 郷士への傳言

観十選は内地の事情にうとく 勢鬼國際として敗闘してゐる牛

で変す 一次で変す 一次で変す 一次に変す 一のに変す 一の

| 1444年日 | 1444年 | 14 三菱雨事株式 會祖 ミナ子

三井軽金屬株式會社

本田病院學於科 開業廣告 (亡父醫學博士本田建義病院跡) 京城府中區黃金町二丁具二四八 京城府中區黃金町二丁具二四八 (※館市監) 院

略和十九年六月五日の粉料合に依り左記に移轉仕候用此段誕告候也 移 輔 謹 告 햙

儀

「和信前朝興銀行鍾路支店三階」 **「伝友議業株式會社朝鮮議業所**

総合 を作れ、と叫ばれてきたの 既に昭和三年ごろから『運搬船取 たこの海賊船は関平として取締る | 面から載でも眺新湿化の必要を認 れるとき供出の正道を踏みばずし 制経済は供出経過である」といは 必要があらう、これあるがために 校中はこれを許さないたらう。統一 といふが現地で耐る半局水産戦 備を要求してゐる、また取締りの 線は法規、機構その他全面的な整

【東京電話】希望に胸ふくらませ

は衣服の桜出は出来ぬものと誤解

京日業內對金(約8)

ロ本鎌業※會社 将中間川町では三十二世

新入學歡迎會 在京半島學徒

められるのである、神質ひの問題 てあることも事質である、半層は 三方形に削してあるのである、こ て通々半島から何風心に燃えて上

といふことを

京、本年度内地高级大學校に入學 信があった場合は所物製造物の許して送らぬものがある、こんな道

開闢せず早末送って弦ひたい 引さへあれば送れるのであるから 質の留守宅の安西、関村の姿 念とが望ましい を知らせると 網車長等からは縁

荷岩 加重搬

洋裁生徒募集

帳場が行きた宝魚

ク衝突 トラツ

賴母し

い意欲

海軍特別志願兵受驗の壯丁 を語り、その態度を激電した 数である、各社丁が許列 潮風して明倫町方面に迎ぶため太 過事器以常市 統制函社トラツク 四日午後三時廿五分頃、明鮮色初 が、東江の砂を

前面右側を吸拭、密導派客中、大面衝突レトラツクと電車がともに 平道 | 乙二八六前の低車線路の上 五元一型調整三型加工第五 町幾四大門行京館 看:此類 200 /

題と大腿部に全治一週間の打機協 求貨事務所 興報

が、選手情が を受けるの他三名も整傷を負つた

配丁川県瀬登丁(%o) 製諭三本三榮郎(%o)

温 支额材料待ち勢

現 神图本

し、機・市忠正

些言論に